



2007年佛山市に出店したイオン順徳ショッピングセンター

生き残り賭けた 激動する

郊外にショッピングモールを展開

華南、山東、華北エリアへ拡大

イオンは3カ年で1600億円を投入し、2010年までに中国に100店舗、東南アジアに90店舗進出する中期計画を明らかにし、今年11月には北京に巨大モールをオープンする予定だ。イオンでは、次なる成長ステージに移行す

るため、人口減や少子高齢化などを背景に、縮小する国内の小売市場重視の投資から、中国・アジア市場への投資にシフトし、成長の軸足を移していく。イオンは現在、中国に24店舗、マレーシアに23店舗、タイに8店舗出店しているため、

3年間で3倍以上の拡大をめざすことになる。1985年にはタイ、マレーシアに初出店し、1987年には香港に1号店を出店した。香港に9店舗、華南地区に12店舗、山東あたり、「北京市を中心とした華北エリア、

天津市、青島市・煙台市などの山東省、深セン市・広州市などの華南エリアに意欲的に進出していく」という。

現在の店舗数	
中国	24店舗
マレーシア	23店舗
タイ	8店舗

「上海上実」との業務提携で 商業エリア好立地に出店

昨年秋には、中国国内不動産保有第2位である不動産開発大手「上海上実(集団)有限公司」と業務提携している。上海上実は、上海、山東省青島など大規模な都市開発を行い、さらに華北、華南地域で事業拡大する方向でイオンの出店戦略に沿っていた。上海上実がイオンのショッピングモールの出店立地の調査をするとともに、イオンが出店するエリアの街全体の計画を進める。中国行政に上海上実が働きかけて都市計画を作成し、優先的に商業エリアの好立地にイオンが出店するしくみだ。上海上実が誘致したいのは、飲食店、衣料・家具・家電専門店、エンターテインメントのある巨大複合モールであったため、互いの利害が一致したのだ。



今年7月にオープンしたイオン煙台ショッピングセンター

昨年秋には、中国国内不動産保有第2位である不動産開発大手「上海上実(集団)有限公司」と業務提携している。上海上実は、上海、山東省青島など大規模な都市開発を行い、さらに華北、華南地域で事業拡大する方向でイオンの出店戦略に沿っていた。上海上実がイオンのショッピングモールの出店立地の調査をするとともに、イオンが出店するエリアの街全体の計画を進める。中国行政に上海上実が働きかけて都市計画を作成し、優先的に商業エリアの好立地にイオンが出店するしくみだ。上海上実が誘致したいのは、飲食店、衣料・家具・家電専門店、エンターテインメントのある巨大複合モールであったため、互いの利害が一致したのだ。

上海には 出店しない

1996年に上海駅前再開発地区に「イオン北京国際商業ショッピングセンター」はもう一回り大

イオン

2010年までの3カ年計画

中国・東南アジアに1600億円投入

国内市場から中国・アジア市場へ投資シフト

イオン

(藤見爾)